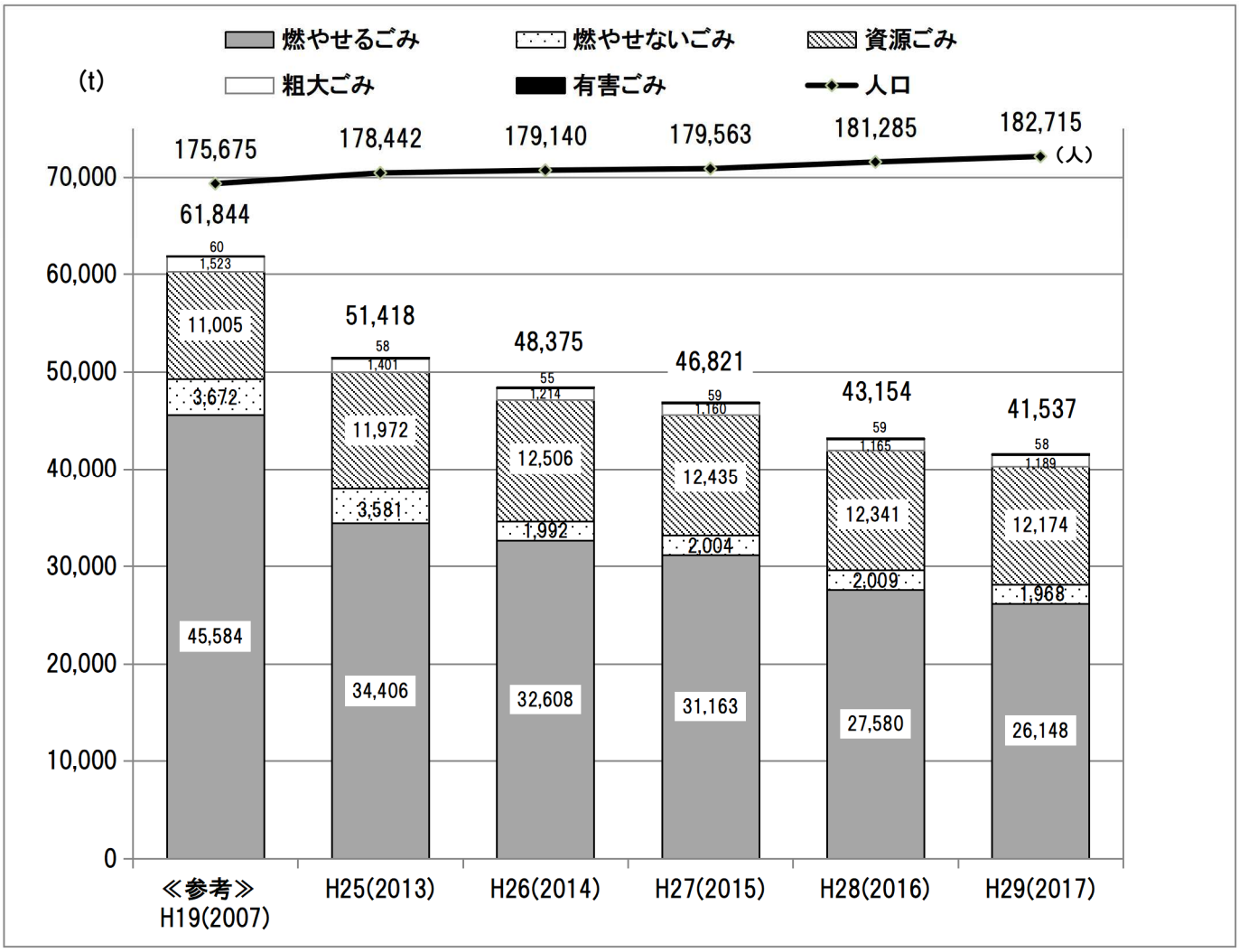
立川のごみでみるめ

2019（平成31）年　3月

～未来へつなごう　ごみをつくらないライフスタイル～

ごみってどれ

立川市全体の年度別ごみ量



※立川市は平成 19（2007）年度を基準として燃やせるごみ 50%減量を目指しています。

年　度	≪参考≫ H19(2007)	H25(2013)	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)
人口(各年度 10/1 現在・人)	175,675	178,442	179,140	179,563	181,285	182,715
世帯(各年度 10/1 現在)	81,238	85,307	86,156	86,876	88,448	89,738
燃やせるごみ(t)	45,584	34,406	32,608	31,163	27,580	26,148
燃やせないごみ(t)	3,672	3,581	1,992	2,004	2,009	1,968
資源ごみ(t)	11,005	11,972	12,506	12,435	12,341	12,174
粗大ごみ(t)	1,523	1,401	1,214	1,160	1,165	1,189
有害ごみ(t)	60	58	55	59	59	58
ごみ排出量合計(t)	61,844	51,418	48,375	46,821	43,154	41,537

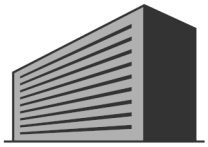
くらいでるの？

立川市内の各家庭や事業所から出るごみ一年分

大きなマスで量ってみると・・・

1m^3 ＝150kgで換算

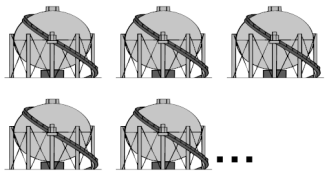
＜立川北口駅ビル＞



約 1.01 杯分

立川北口駅ビル：274,000m^3

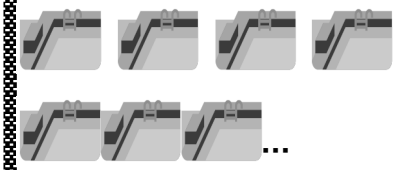
＜ガスタンク＞



約 13.8 杯分

ガスタンク：20,000m^3

＜学校のプール＞



約 923 杯分

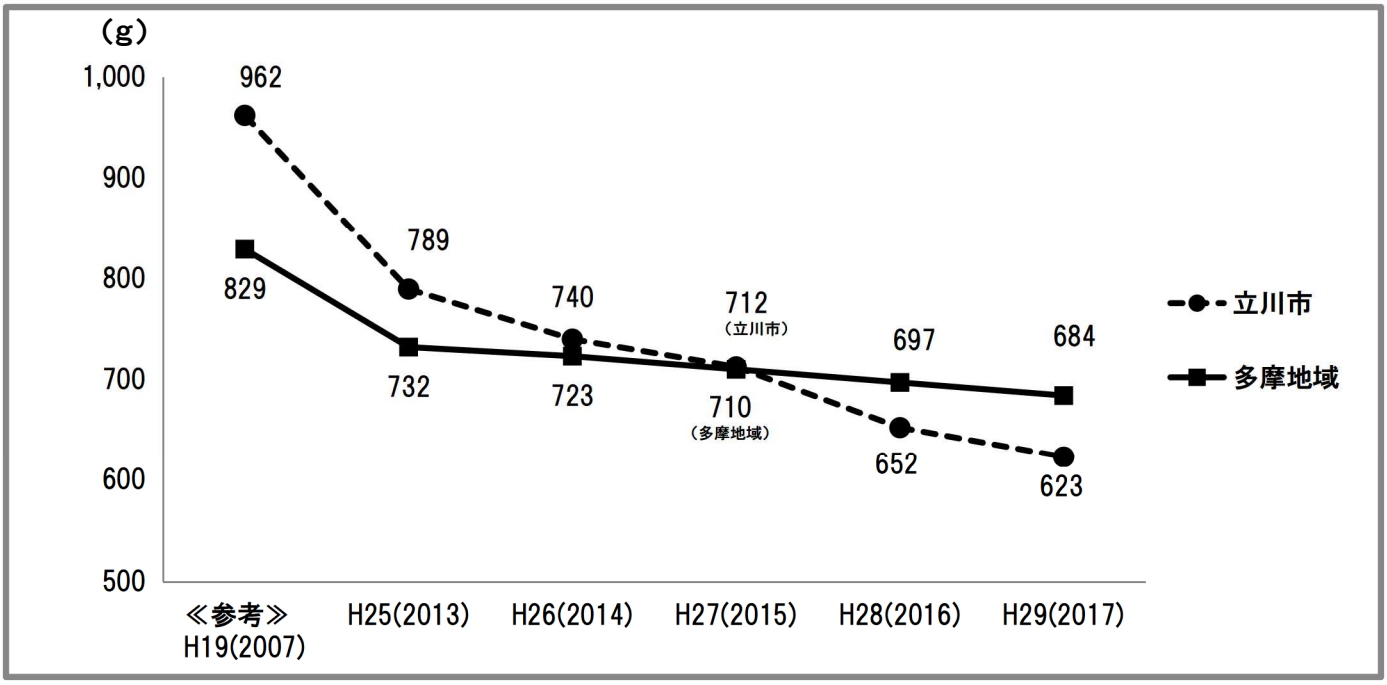
25mプール：300m^3

収集車に積んでみると・・・

1台2トンとして

・・・20,769 台分

赤ちゃんからお年寄りまで、1 日一人あたりのごみの量



※基準人口 ：各年度 10 月 1 日

ごみの処理手間も

立川市では年間約 4.2 万トンのごみを、たくさんの人が、たくさんの機材・施設を使って処理しています。

処理

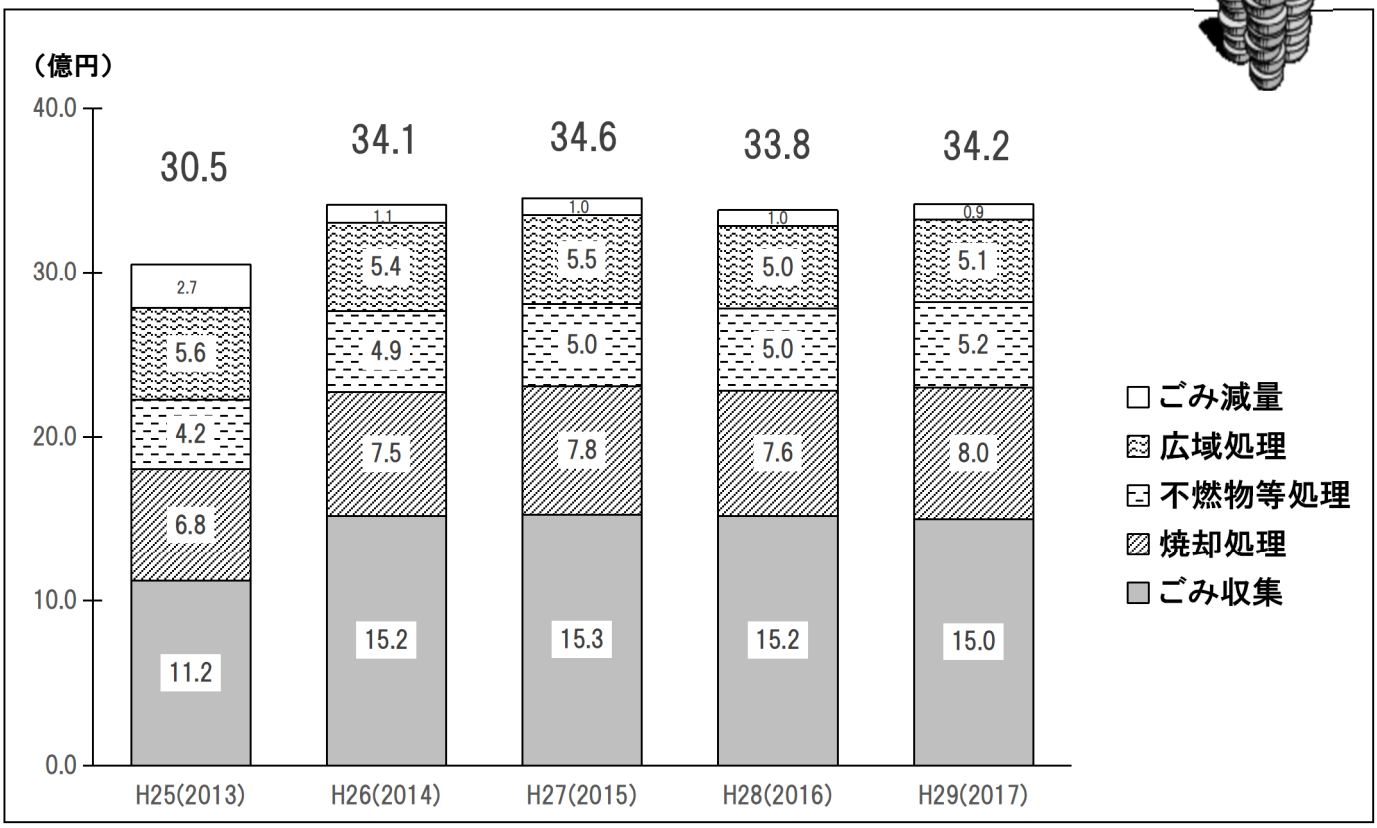
	清掃工場	総合リサイクルセンター
施設		110 部屋あります！
処理内容	ごみの焼却	ごみの破砕・資源物の選別
処理能力	280t／24 時間	76t／日
施設人員	44 人（市職員 14 人・委託 30 人）	68 人（市職員 25 人・委託 43 人）
作業車両	フォークリフト	ホイルローダー・フォークリフト・ショベルローダー
運搬車両	2 台（焼却灰用）	2 台

収集

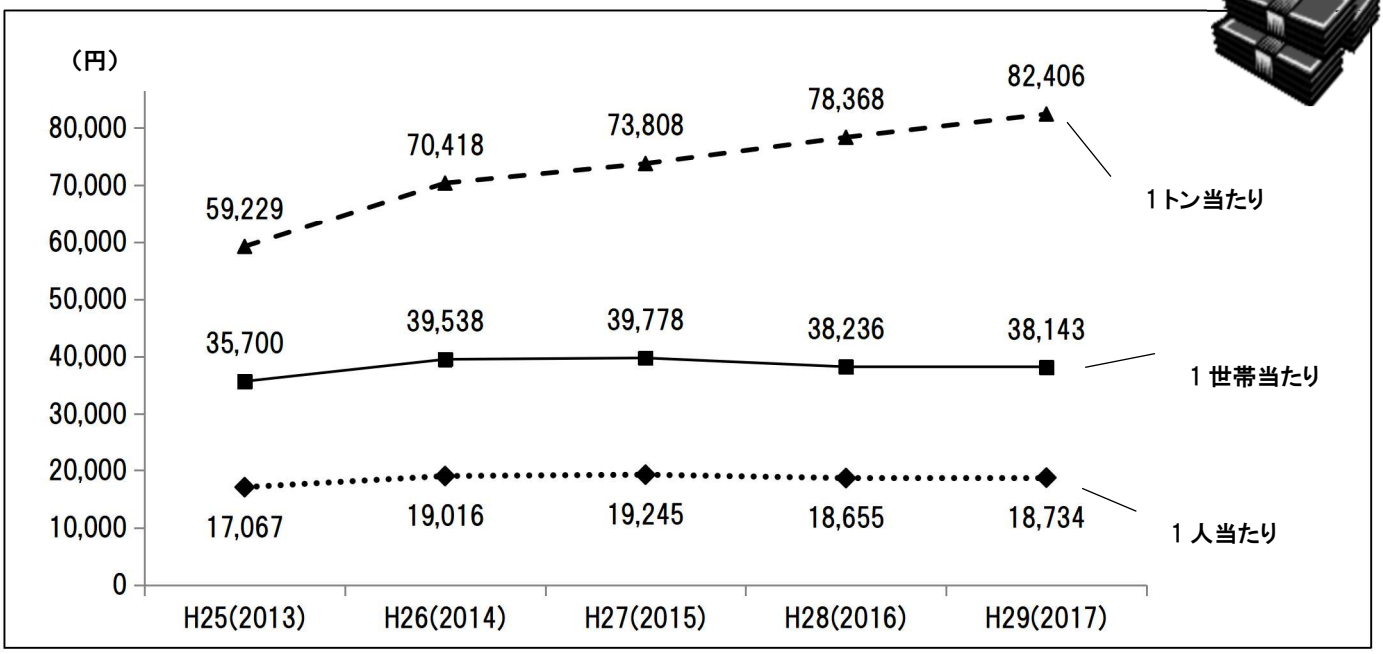
ごみの種類	可燃・不燃・有害・資源	粗　　大
車両台数	91 台	3 台
人　　数	193 人	6 人

お金もかかります

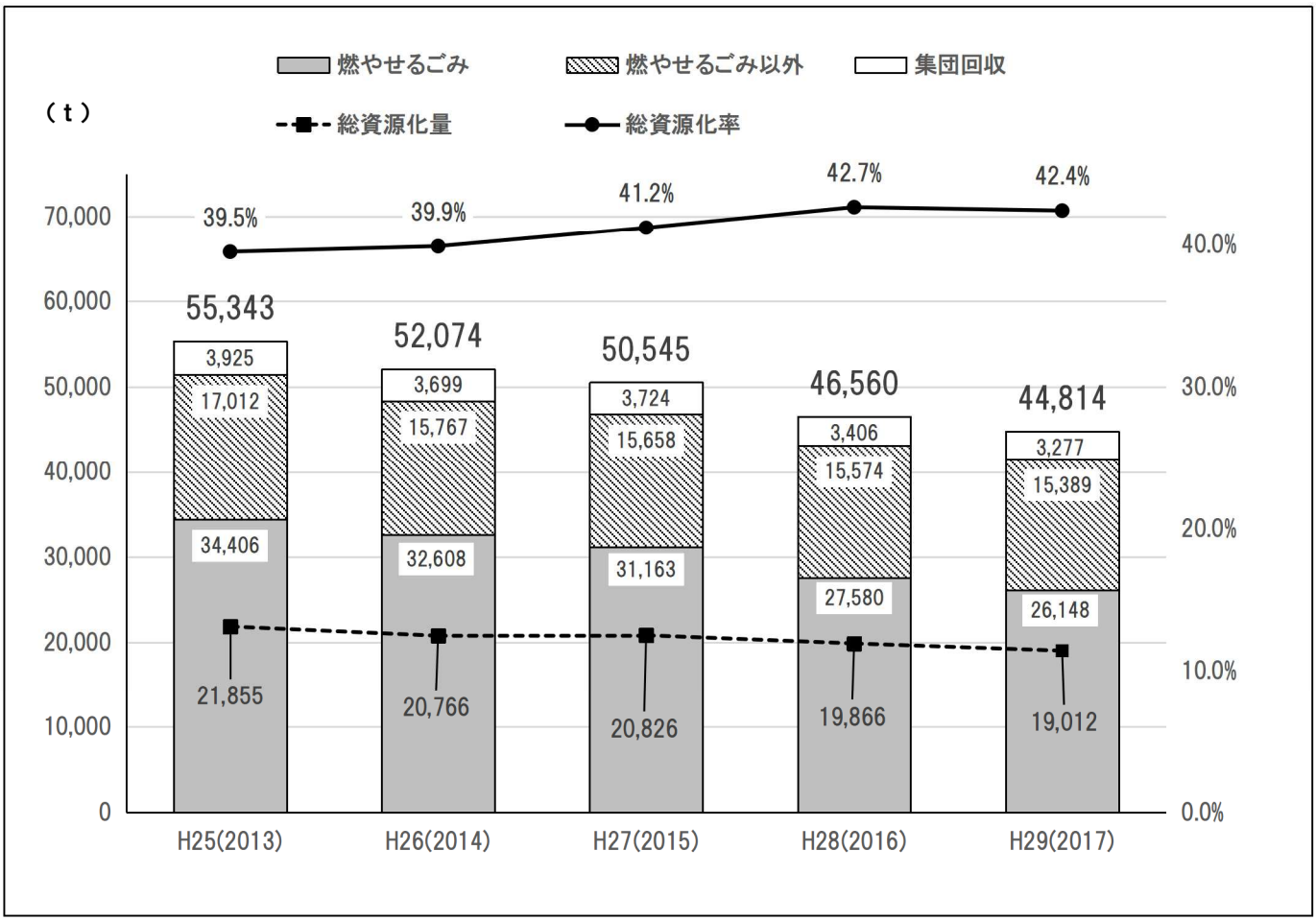
全体の処理費用



単位当たりの処理経費



燃やせるごみ 減らして

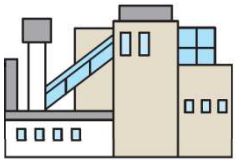


平成 25 年度の家庭ごみの戸別収集・有料化以降、市民のみなさんのご協力により、燃やせるごみを中心としてごみの減量と資源化が進んでいます。

平成 18 年度から開始した焼却灰のエコセメント事業と、戸別収集・有料化以降の燃やせないごみの減量により埋立て量が減り、平成 27 年度からは埋立ては 0 トンとなっています。

年度	H25(2013)	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)
埋立て量	361t	49t	0t	0t	0t

可燃ごみ焼却灰　3,462 トンは・・



日の出町にある施設で
エコセメントになりました！

増やそう リサイクル

資源化量 19,012 トンの内訳は･･･

「紙・布の日」収集・持ち込みにより

新聞・チラシ	828 トン
雑誌・雑がみ等	3,122 トン
ダンボール等	1,256 トン
牛乳パック	1 トン
布	825 トン

「缶の日」「びんの日」の収集・持ち込みにより

スチール缶	220 トン
アルミ缶	214 トン
生きびん	91 トン
カレット	1,172 トン

（ガラスびんをくだいたもの）

不燃ごみ・粗大ごみからの抜き取りにより

スチール	648 トン
アルミ	83 トン
優良粗大ごみ ＋再生粗大ごみ	109 トン

プラスチック類の収集・持ち込みにより

ペットボトル	492 トン
プラスチック	2,187 トン

せん定枝たい肥化 539 トン

有害ごみの再資源化 67 トン

マテリアルリサイクル（外部施設）
（さまざまな材料として再利用） 243 トン

エコセメント 3,462 トン

小型家電回収ボックスからの回収と不燃ごみからの抜き取りにより

家電	1 トン
小型家電	172 トン
バッテリー	0 トン
充電式電池	1 トン

羽毛布団 2 トン

集団回収 3,277 トン

［内訳］

古紙	3,010 トン
布	165 トン
アルミ缶	83 トン
スチール缶	11 トン
生きびん	8 トン

資源の行方

集めた資源をリサイクルセンターから運び出すときに、「ベール」や「プレス」というかたまりにまとめるものがあります。それぞれ重さや大きさ、行先が違い、処分料（支払）が必要になるものと売れるものがあります。

容器包装プラスチック

ベール１個の重さ	約270kg
ベール１個の大きさ	約100×100×100cm
処分料（支払）	1ベールあたり約130円
引き取り先	容器包装リサイクル協会

ペットボトル

ベール１個の重さ	約200kg
ベール１個の大きさ	約100×100×100cm
処分料（支払）	1ベールあたり0円
引き取り先	容器包装リサイクル協会
ベール１個のペットボトル数	約8,000個 ※500ml…25gとしたとき

スチール缶

プレス１個の重さ	約30kg
プレス１個の大きさ	約15×50×50cm
売却料	1プレスあたり約410円
引き取り先	民間企業
プレス１個のスチール缶数	約860個 ※190ml…35gとしたとき

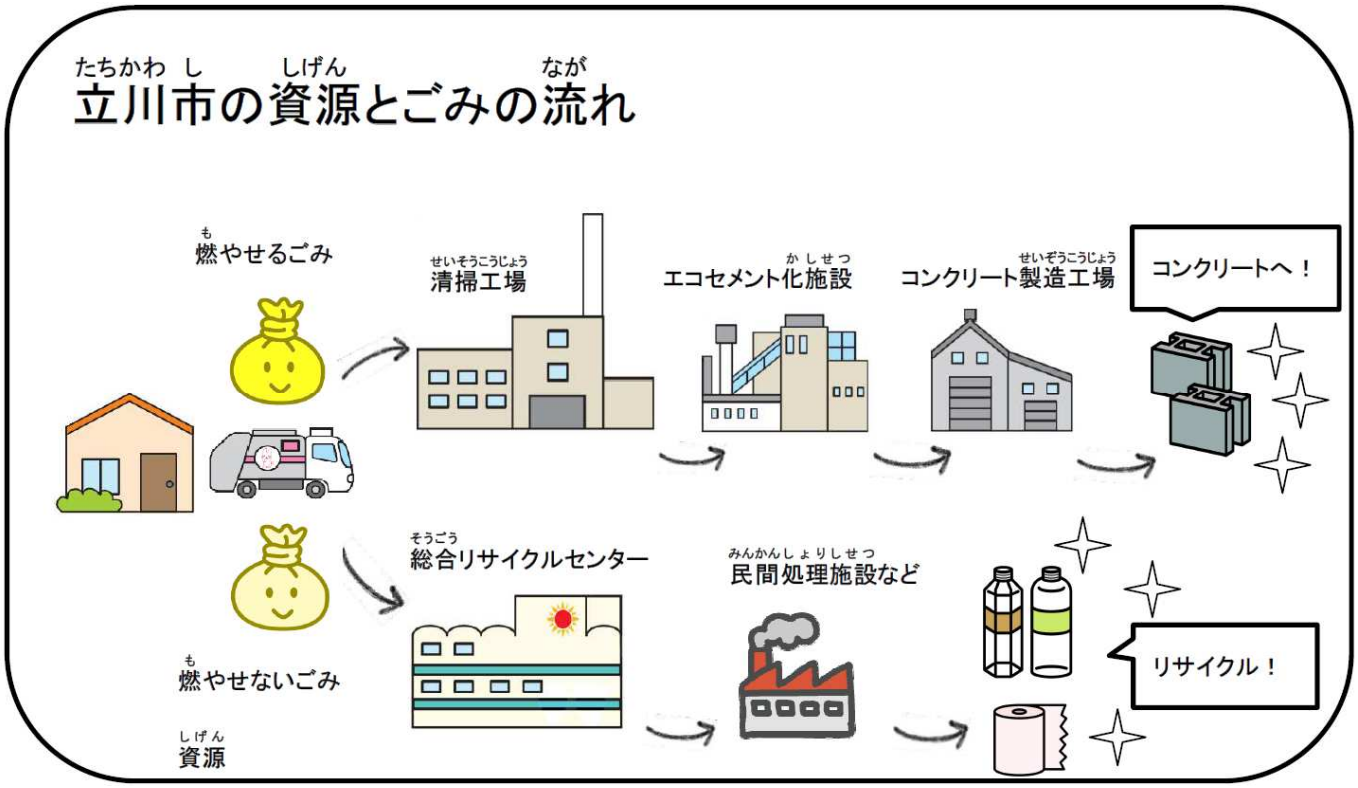
アルミ缶

プレス１個の重さ	約8kg
プレス１個の大きさ	約5×50×50cm
売却料	1プレスあたり約1,130円
引き取り先	民間企業
プレス１個のアルミ缶数	約400個 ※500ml…20gとしたとき

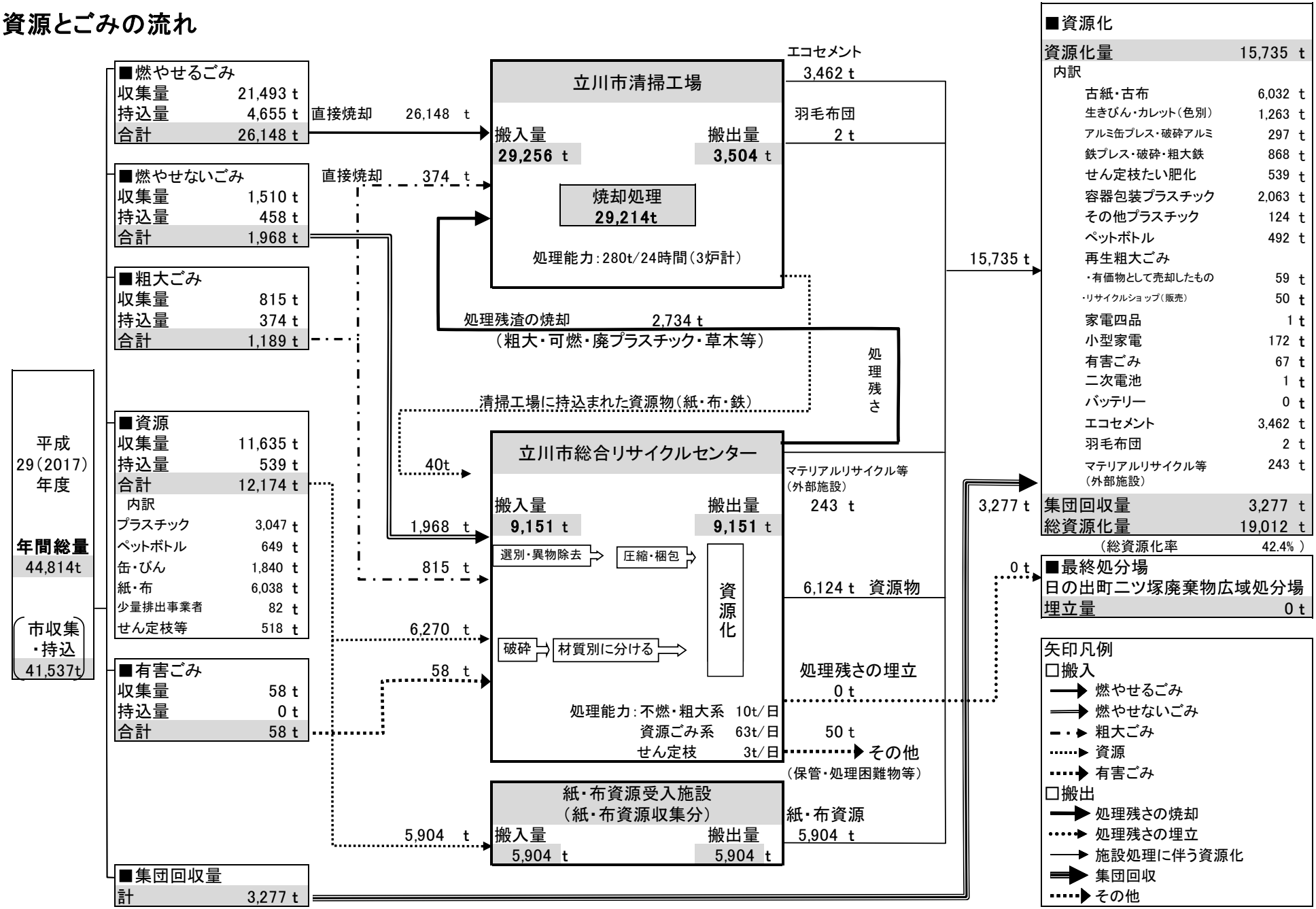
資源とごみの種類は？

立川市の資源とごみは、次のとおりの分別になっています。ご協力をお願いします。

種　　類	出せるもの（例）	収集回数
燃やせるごみ	生ごみ・革製品・靴・木片・保冷剤・汚れた紙	週２回
燃やせないごみ	せともの・ガラス・ゴム製品・ホース・金属類・混合ごみ	隔週
容器包装プラスチック	食品容器・トレー・パック類・菓子などの袋・チューブ類	週１回
製品プラスチック	プランター・バケツ・CD のケース・ハンガー・発砲スチロール	隔週
ペットボトル	お茶、ジュース、醤油などのボトル容器　→　水ですすぐ	週１回
新聞・折込チラシ	新聞・折込チラシ　→　ひもで束ねる	隔週
段ボール・茶色紙	段ボール・包装紙・封筒　→　ひもで束ねる	隔週
雑誌・本・雑がみ	雑誌・本・メモ用紙・チラシ・パンフレット・シュレッダーした紙 →　ひもで束ねるか紙袋に入れる	隔週
牛乳等紙パック	牛乳等紙パック　→　水ですすいでひもで束ねる	隔週
古布	衣類・シーツ・毛布・帽子・ハンカチ・下着　→　洗濯する	隔週
缶	飲料用・食品用・菓子　→　水ですすぐ	隔週
びん	飲料用・食品用・化粧品　→　水ですすぐ	週１回
有害ごみ	電球・蛍光灯・電池類・体温計・ライター・モバイルバッテリー	週１回
せん定枝	長さ 50cm直径 15cmまで　→　ひもで束ねる	週１回
粗大ごみ	テーブル・タンス・棚類・炊飯器・トースター・照明器具	随時（申込）

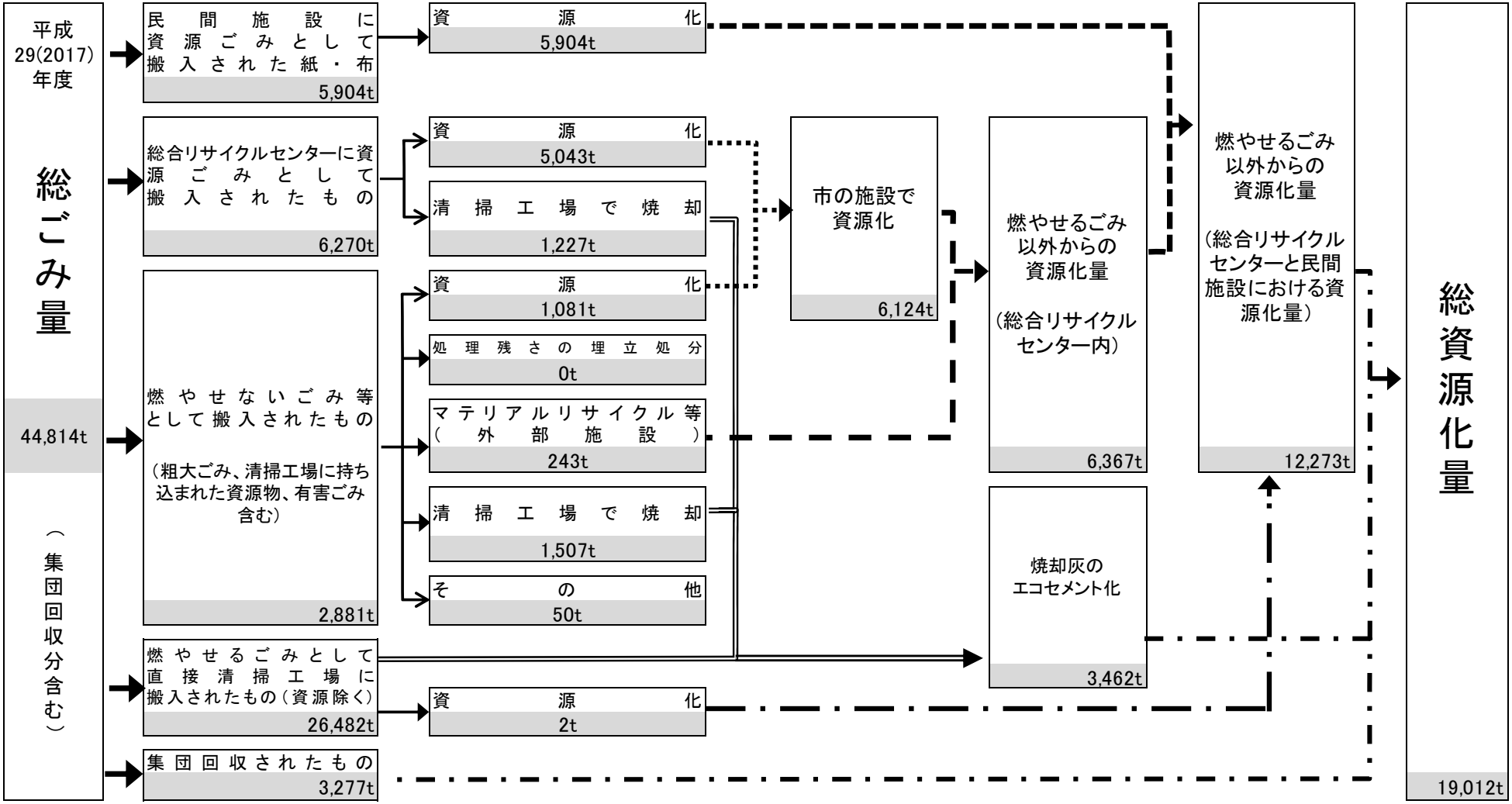


資源とごみの流れ


平成29(2017)年度
年間総量 44,814t
市収集・持込 41,537t
■燃やせるごみ
収集量 21,493 t
持込量 4,655 t
合計 26,148 t
直接焼却 26,148 t
■燃やせないごみ
収集量 1,510 t
持込量 458 t
合計 1,968 t
直接焼却 374 t
■粗大ごみ
収集量 815 t
持込量 374 t
合計 1,189 t
■資源
収集量 11,635 t
持込量 539 t
合計 12,174 t
内訳
プラスチック 3,047 t
ペットボトル 649 t
缶・びん 1,840 t
紙・布 6,038 t
少量排出事業者 82 t
せん定枝等 518 t
■有害ごみ
収集量 58 t
持込量 0 t
合計 58 t
■集団回収量
計 3,277 t
立川市清掃工場
搬入量 29,256 t
搬出量 3,504 t
焼却処理 29,214t
処理能力:280t/24時間(3炉計)
処理残渣の焼却 2,734 t
(粗大・可燃・廃プラスチック・草木等)
処理残さ
清掃工場に持込まれた資源物(紙・布・鉄)
40t
1,968 t
815 t
6,270 t
58 t
立川市総合リサイクルセンター
搬入量 9,151 t
搬出量 9,151 t
選別・異物除去
圧縮・梱包
破砕
材質別に分ける
資源化
処理能力:不燃・粗大系 10t/日
資源ごみ系 63t/日
せん定枝 3t/日
紙・布資源受入施設
(紙・布資源収集分)
搬入量 5,904 t
搬出量 5,904 t
5,904 t
エコセメント 3,462 t
羽毛布団 2 t
マテリアルリサイクル等(外部施設) 243 t
6,124 t 資源物
処理残さの埋立 0 t
50 t
その他
(保管・処理困難物等)
紙・布資源 5,904 t
15,735 t
3,277 t
0 t
■資源化
資源化量 15,735 t
内訳
古紙・古布 6,032 t
生きびん・カレット(色別) 1,263 t
アルミ缶プレス・破砕アルミ 297 t
鉄プレス・破砕・粗大鉄 868 t
せん定枝たい肥化 539 t
容器包装プラスチック 2,063 t
その他プラスチック 124 t
ペットボトル 492 t
再生粗大ごみ
・有価物として売却したもの 59 t
・リサイクルショップ(販売) 50 t
家電四品 1 t
小型家電 172 t
有害ごみ 67 t
二次電池 1 t
バッテリー 0 t
エコセメント 3,462 t
羽毛布団 2 t
マテリアルリサイクル等(外部施設) 243 t
集団回収量 3,277 t
総資源化量 19,012 t
(総資源化率 42.4%)
■最終処分場
日の出町二ツ塚廃棄物広域処分場
埋立量 0 t
矢印凡例
□搬入
燃やせるごみ
燃やせないごみ
粗大ごみ
資源
有害ごみ
□搬出
処理残さの焼却
処理残さの埋立
施設処理に伴う資源化
集団回収
その他

資源化の内訳

単位：t



燃やせるごみ以外からの資源化率（総合リサイクルセンター内資源化率）				
6,367t （燃やせるごみ以外からの資源化量）	÷	9,151t （※）	＝	**69.6%**

燃やせるごみ以外からの資源化率（総合リサイクルセンターと民間施設における資源化率）				
12,273t （燃やせるごみ以外からの資源化量）	÷	15,055t （※）	＝	**81.5%**

総資源化率				
19,012t （総資源化量）	÷	44,814t （総ごみ量）	＝	**42.4%**

※ 内訳		
	総合リサイクルセンターへの年間搬入量	9,151t
	民間施設への資源物搬入量	5,904t
合計		**15,055t**

清掃工場

燃やせるごみ・木製の粗大ごみ

若葉町4-11-19　☎536-2921

総合リサイクルセンター

燃やせないごみ・資源ごみ・木製以外の粗大ごみ

西砂町4-77-1　☎531-0950

目でみる立川のごみ　2019（平成 31）年 3 月　発行：立川市環境下水道部ごみ対策課